

静岡相撲部OBちから会  
昭和30年から会創立  
昭和39年 11月初刊  
会 長 細倉涼太  
事務局 大江弘文

静岡県相撲連盟会長 下村勝彦氏

第57回静岡県体育協会体育章功労章受章祝賀会が、9月19日(日)の【敬老の日】、焼津市ホテル・アンビシア松風閣(コンベンションホール富士)で午後五時から県下8支部及び、各界から一八一名の出席の下、盛大に開催された。

下村、清子夫妻の入場に続き、県会議員、焼津市長、県相撲連盟副会長からの祝辞を頂き、最後に県連顧問、ちから会の渡辺さんから我々を代表し、祝辞、昔話を披露していただいた。

下村さんが中学一年生の時、渡辺さん高校三年生の時、静岡の土俵で初めて対戦したが、内掛けで負けた事、明大を卒業し静岡トヨペットへ入社後、静岡県国体選手として出場する為、会社に休暇を出したが、会社側は相撲より社業に専念して欲しいと言われ困っているとの話が伝わり、渡辺さん他三人で社長に面談し、何とか理解を得て出場する事が出来たと、我々の知らない話しを披露していただいた。前者の祝辞も大変素晴らしいが、先輩、後輩、裸で付き合ってきた者同士の話は、なおの事真実味があり、なおさら深い感銘を受けたのではないだろうか。

宴も佳境に入り静岡応援団OBも入り、校歌斉唱の時の、下村さんの目が何かし潤んでいたのは私の気のせいかな？

最後、下村さんからの謝辞があり、本人人生の100%、相撲道に取り組んでこられたのも、故嘉一さん、故神田さんそして、静岡相撲部OBの諸先輩方、県下8支部の役員の皆さん、何といっても、内助の功である清子さんの存在が大きいとこの出席者全員が、感じた事でしょう。

これからも元気で、静岡県相撲連盟会長として、我々を引っ張って行って下さい。 完。

大江弘文。

私も魚ヤを廃業して丸五年、敏子に下村さんの事を話したら、松風閣に一泊したいとの事。妹を誘い三人で一泊し、翌日20日に帰りました。皆さん、たまには奥さん孝行するのもいいですよ。

静岡漢声俳句会

網棚の忘れ扇や終電車  
初段焼く煙一筋暮れ残る  
秋日和ふと呼びさます旅ごころ  
影先に坂道のぼる秋日和  
秋日和黄色に染まる棚田かな  
秋扇求む老舗の京なまり  
銀漢や黄土に続く絹の道

岩崎 安次  
高橋 璋  
加賀美 幸  
原川 芳朗  
佐藤 康紀  
永田 峰雄  
牧田 秀峰



(出席者) 伊東稔浩・渡辺 實・宮城 智・吉永輝夫  
吉永俊彦・新井正司・岩崎安次・小林勝彦・上杉隆信  
倉沢澄夫・星野 敦・川上明廣・大江弘文・中村修二  
神田孝次・細倉涼太・長田 満・小池善一郎  
河野晋作・田中一也・森本浩史・中村 武・村松一茂

第10回しずおかスポーツフェスティバル

「相撲競技」(焼津市営相撲場)

今年最後の公式戦が9月25日(日)午前10時  
幼児から一般百十名の参加で開催された。

団体戦(7人編成)に10チームが出場。静岡  
A・Bの2チームが出場。ともに2回戦で敗退。  
個人戦(幼児・年長)の部 金井榮歩が第2位。

「(3年生の部) 根上航平が優勝。

根上君、来年4年生、わんぱく相撲の市・県大会出場を目指し、又他の試合でも勝っていけるように一生懸命稽古をしましょう。

平成28年度ちから会費納入誠に有難うございます。

田中一也